

5. 説明書類編

5-1. 取扱説明書

ガス暖房専用熱源機

取扱説明書 保証書付

品名コード
BS-0600ARS

ごあいさつ

このたびは、東邦ガスのガス暖房専用熱源機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

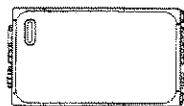
安全に使用していただくために、本機器を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないうちにお読みください。

○この取扱説明書の2ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

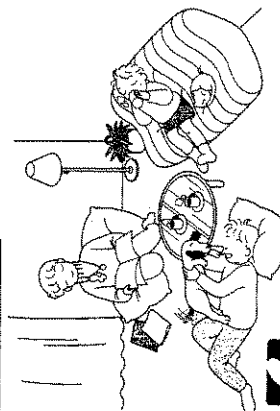
○災害などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○機器を紛失された場合や、ご不明な点があれはお問い合わせの窓口または、最寄りの東邦ガスにお問い合わせください。



(BL認定品：BS-0600ARS)

型 式 名
YG0602R



TOHO GAS

TOHO GAS

TH64

1. 使用前に
 ●特に注意していただきたいこと・・・1～7
 ●各部のなまえとはたらき・・・8

2. 使いかた
 ●初めてお使いになるときは・・・9～10
 ●暖房のしかた・・・11～12
 ●暖房予約のしかた・・・13～14
 ●暖房水の補給について・・・15
 ●凍結予防のしかた・・・16
 ●安全装置について・・・17

3. 点検・お手入れ、他
 ●点検・お手入れ・・・18
 ●故障かな?と思ったら・・・19～21
 ●アフターサービス・・・22
 ●仕様・・・23
 ●保証書・・・26

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

△危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
○お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者、機器を譲渡された人も含みます。
 ※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかつた場合に起こりうる現象を簡潔な文字で表記しています。
 (例：ガス漏れのおそれがあります。)

■注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

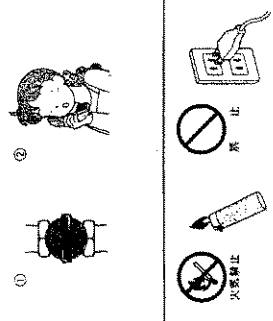
絵表示	意 味	絵表示	意 味
	特定しない一般的な危険・警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感 電 注 意		火 気 禁 止
	高 温 注 意		接 触 禁 止
	発 火 注 意		ぬ れ 手 禁 止
	必 ず 行 う		分 解 禁 止
	ア ー ス 必 要		

△危険

ガス漏れ時の処置

- ①すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ②販売店または、もよりの東邦ガスに連絡する。

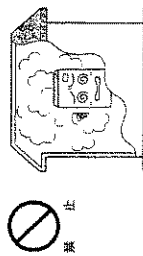
- 上記①～②の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。
- 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



△危険

屋内設置の禁止

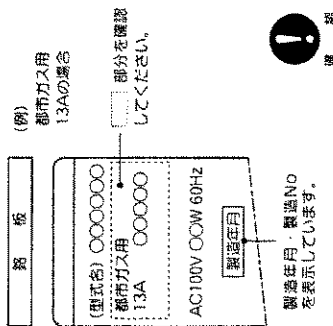
- この機器は屋外設置形のため、屋内（浴室を含む）には絶対に設置しない。
- 不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



△警告

使用ガス・電源について

- 必ず銘板（機器前面に貼付）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。
- 表示以外のガスで使用するると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 電源は、AC100V・60Hzを使用する。
- 他の電源で使用するると火災や感電などのおそれがあります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。



わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡する。

製造年月：製造No.を表示しています。

囲いなどの禁止

- 機器設置後、増改築などにより屋内状態にしない。
- また、波板などによって囲いをしない。
- 火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。



警告

異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常発熱、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～③の手順に従ってあわてずみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡する。

- ①放熱器または別売の温水温度リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ②暖房機器の運転スイッチを「切」にする。
- ③ガス栓を閉じる。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器やリモコンを分解したり、修理・改造を行わない。異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。



低温やけどのおそれあり

- 床暖房中床面に長時間座ったり、寝そべると比較的低い温度でも皮膚腐傷を起こす危険があります。特に病人・高齢者・乳幼児・皮膚の弱い方などには、ご家庭の方が十分にご注意ください。
- 乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。
- 床面が異常に高くなる場合は使用しない。
- 低温やけどのおそれがあります。

異常に高くなる場合はお買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。

破損のおそれあり

- 床暖房の上にスプレー缶、ライターなどを置かない。
- 熱でスプレー缶内の圧力が上がり、破裂するおそれがあります。



感電のおそれあり

- リモコンに水をかけたりぬれた手で操作しない。
- 感電のおそれがあります。故障の原因となります。
- ※リモコンをお掃除するときは、ベンジンや油溶系の洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。



注意

電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。
- 感電やショート発火による火災のおそれがあります。



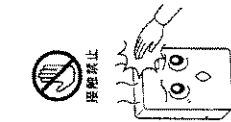
- 電源プラグの差し込みは確実に。差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。

- ぬれた手で電源プラグをさわない。ぬれ手禁止。

- 電源コードを引っばつて電源プラグを抜かない。

- 電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。

- 電源プラグはほこりをふき取る。発火の原因になります。



やけどに注意

- 使用中、使用直後は排気口周辺が高熱になるため、さわったりしない。
- やけどのおそれがあります。
- 床暖房のうえで長時間座ったり、寝そべったりしない。
- 低温やけどのおそれがあります。

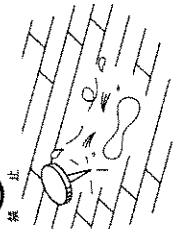
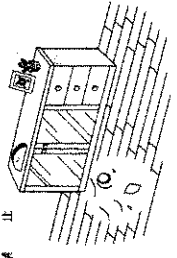
アースの確認

- この機器はアースが必要のため、アースされているか確認する。
- 機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



床暖房をご使用の場合

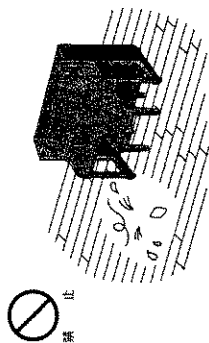
- 床へは物を置かない。
- 床暖房を敷設している床面に、突起物（釘・凸びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしない。
- 水滴れの原因になります。
- 家具などを直接床に置かない。
- 床暖房の上に調理器具、家具などを置くこと、家具などに熱がこもり、ひずみなどが発生する原因になります。



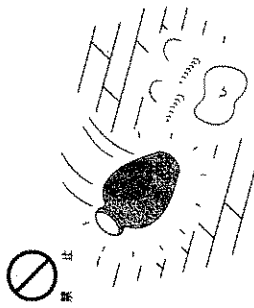
⚠️ 注意

床暖房をご使用の場合

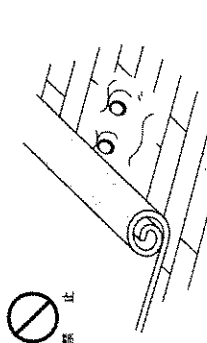
- 重いものはそのまま置かない。
ピアノなど重機物にはパッドなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置する。
床が破損し、水漏れのおそれがあります。



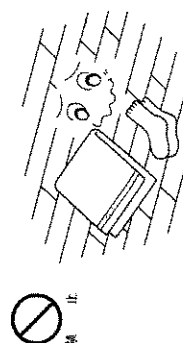
- 床へは衝撃を加えない。
床が破損し、水漏れのおそれがあります。



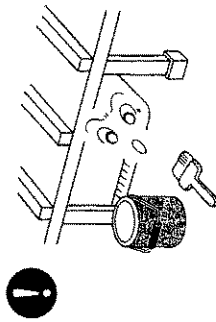
- 床仕上材の上に敷かない。
木質フローリングを使う場合、カーペットなどの敷物を敷かない。
機器の性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色する原因になります。



- 床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）に使わない。



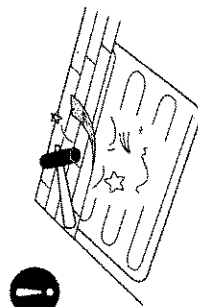
- 床下防湿処理をするときは注意する。
床暖房および配管類に処理剤が付着すると、腐食する原因になります。



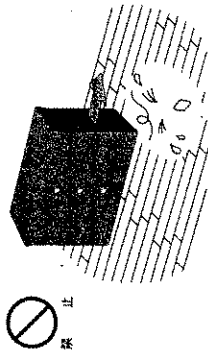
⚠️ 注意

床暖房をご使用の場合

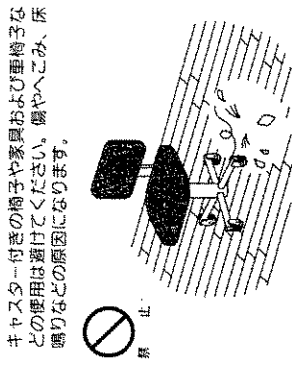
- カーペット以外の仕上材を張り替える場合は、販売店に相談する。



- 家具は引きずらない。
壁たい家具などを動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動するようにしてください。また、椅子などをひきずりますと床仕上材に傷がつきます。床と接触する部分にフェルトなどを貼り付けて保護してください。



- キャスター付きの椅子や家具および書椅子は使用しない。
キャスター付きの椅子や家具および書椅子などの使用は避けてください。傷やへこみ、床鳴りなどの原因になります。



- 閉め切ったお部屋で長時間使用しない。
閉め切ったお部屋では、こくまに体調が悪くなる場合があります。接着剤や床仕上材が原因（ホルムアルデヒド）のひどつに考えられますので、窓を開放し換気を行ってください。（床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上材の施工店にご相談ください。）

- エアコンやテレビなどのリモコンは長時間置かないでください。
故障の原因になります。

- 床仕上材のお手入れの注意

詳しくは床仕上材メーカーにお問い合わせください。



🙏 お願い

シーズン初めにお使いになるとき

- シーズン初めは暖房タンク内の水量が少なくなっていますので機器を停止させ15ページに従って暖房水を補給してください。

お願い

リモコンについて

- リモコンは子どもがいたずらしないよう注意してください。
- リモコンの故障の原因になります。

市販の補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。
- 思わぬ事故の原因になります。

横置時における注意

- 横置時には排気トップ・給気口の点検、除雪を行ってください。
- 排気トップ・給気口がふさがれると不完全燃焼の原因になります。

停電時の処理

- 停電すると自動的にガスが止まり燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。9ページからの「はじめにお使いになるときは」に従って操作してください。

日常の点検・お手入れについて

- 点検・お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。(18ページ参照)
- リモコンを掃除するときは、ベンジンや油脂系の溶剤は使用しないでください。
- リモコンが変形する場合があります。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをするとは機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

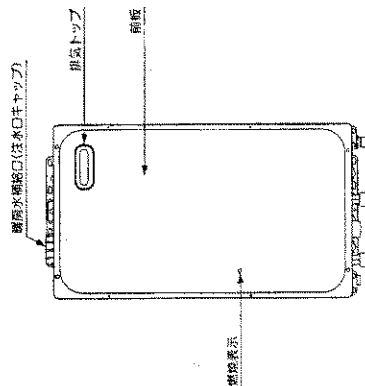
機器を廃棄する場合

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
- そのまましておくとおそれる事故になることがあります。

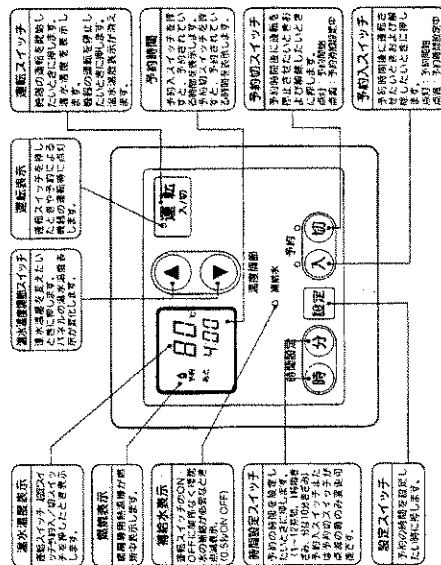
各部のなまえとはたらき

機器本体

屋外式壁掛形



温水温度リモコン (別売品: YPRM56)



※本図は説明用にまでを載せているため、実際の表示とは異なります。
※温水温度表示は、床暖房システムにより表示温度が異なります。

特長

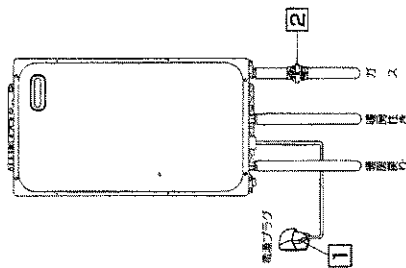
- 湯水を使用するため、お部屋の空気を汚さないクリーン燃焼です。
- 設定温度が一目でわかるデジタル表示、(温水温度リモコン)
- お部屋の放熱器 (ガス温水エアコンなど) の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

初めてお使いになるときは

必ずお読み

運転前の準備と確認

1 ~ 2 の手順で行ってください。



1 電源の投入

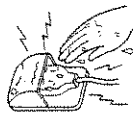
電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用扉内ブレーカーのスイッチを
「入」にする。

2 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

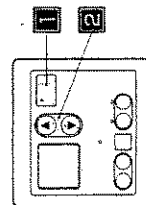
△注意

ぬれた手で電源プラグをさわらない。
感電のおそれがあります。



温水温度の設定（別売温水温度リモコン使用時のみ）

温水温度リモコン



1 運転スイッチを押す

運転スイッチを押すと暖房運転を開始します。



初めて運転スイッチを押したときは、80℃が表示されます。

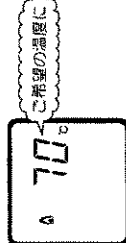
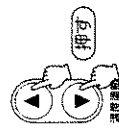


燃費時表示します。

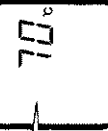
●床暖房システムの違いにより設定を変更されている場合は65℃が表示されます。

2 温度調節スイッチを押す

床面の温度に応じて温水温度を調節してください。



運転中でも燃費表示が消えることがあります。



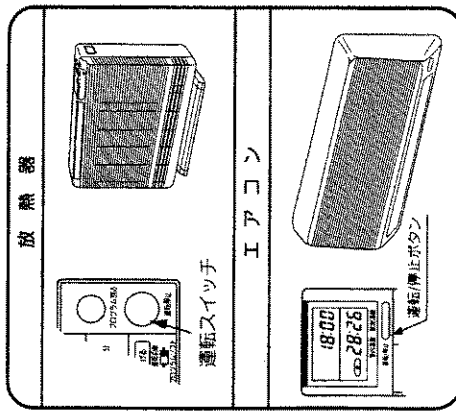
温水温度を自動的に調整するため運転中でも燃費停止することがあります。

- 温度調節範囲は80℃～45℃の間で5℃きざみに設定できます。
- 床暖房システムの違いにより設定を変更されている場合は、65℃～45℃の間で5℃きざみの設定になります。

暖房のしかた

マルチコントロールの場合

- 放熱器やエアコンなどの運転スイッチに連動して暖房運転ができるシステムです。



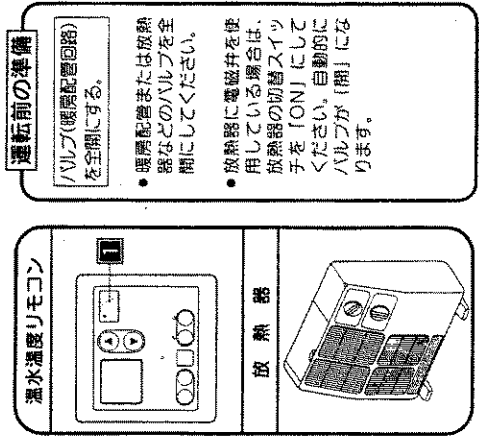
1 放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す



- 放熱器やエアコンにはいろいろな種類がありますので、それぞれの取扱説明書に従って操作してください。
- エアコンの場合、暖房のモードになっていることを確認してください。

マルチコントロールでない場合

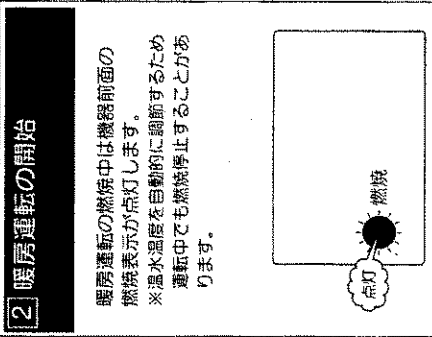
- 放熱器の運転スイッチに連動して暖房運転をしないシステムは温水温度リモコンが必要です。



運転前の準備

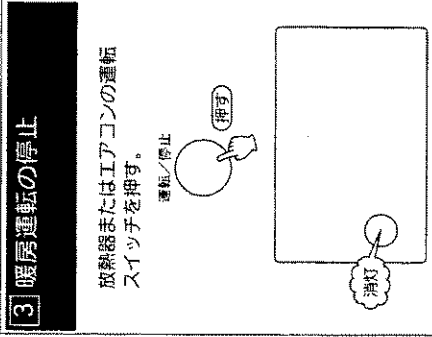
バルブ(暖房配管回路)を全開にする。

- 暖房配管または放熱器などのバルブを全開にしてください。
- 放熱器に電磁弁を使用している場合は、放熱器の切替スイッチを「ON」にしてください。自動的にバルブが「開」になります。



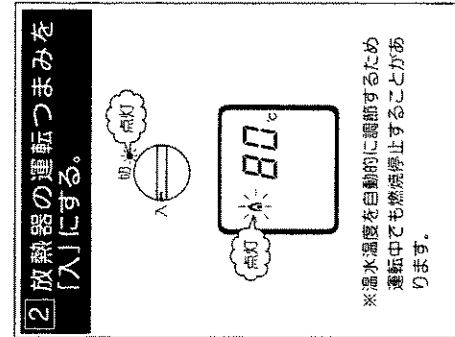
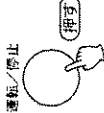
2 暖房運転の開始

暖房運転の開始中は機器前面の燃焼表示が点灯します。
※ 温水温度を自動的に調節するため運転中でも燃焼停止することがあります。

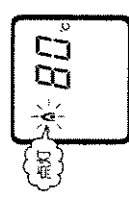
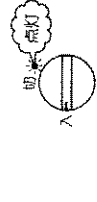


3 暖房運転の停止

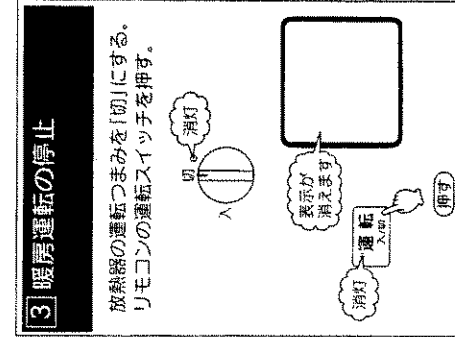
放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す。



2 放熱器の運転つまみを「入」にする。

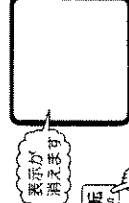
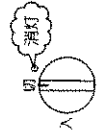


※ 温水温度を自動的に調節するため運転中でも燃焼停止することがあります。



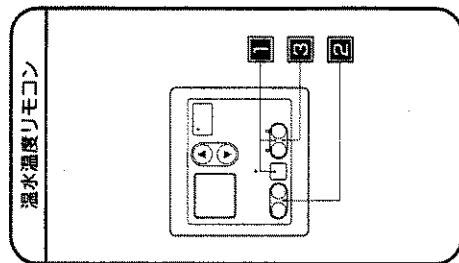
3 暖房運転の停止

放熱器の運転つまみを「切」にする。リモコンの運転スイッチを押す。

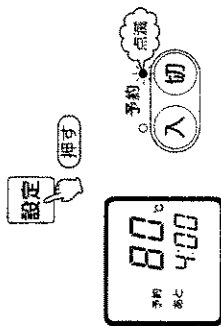


暖房予約のしかた〈温水温度リモコン使用時のみ〉

暖房予約運転「切」のしかた（設定時間が経過すると暖房運転が停止します。）



1 設定スイッチを押す



- 初めて設定スイッチを押したときは、設定時間は4時間に設定されています。
- 予約「切」スイッチが点滅しています。
- 予約「入」スイッチが点滅の場合は、再度設定スイッチを押すと予約「切」スイッチが点滅します。

2 時間設定スイッチを押す

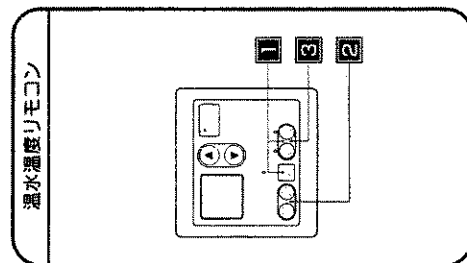
●約10秒後に点滅から点灯に切り替わり暖房開始になり設定完了です。（設定時間が経過すると暖房運転が停止します。）

●予約「切」を解除したい時は、「切」スイッチを押し消灯させてください。

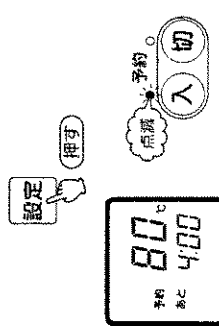
3 予約完了

●予約「切」スイッチを押すと、予約設定時間が経過すると暖房運転が停止します。

暖房予約運転「入」のしかた（設定時間が経過すると暖房運転が開始します。）



1 設定スイッチを押す



- 初めて設定スイッチを押したときは、設定時間は4時間に設定されています。
- 予約「入」スイッチが点滅しています。
- 予約「切」スイッチが点滅の場合は、再度設定スイッチを押すと予約「入」スイッチが点滅します。

2 時間設定スイッチを押す

●時間を設定するとき、12時間の次の12時間にもどります。

●10分から12時間の間で10分きざみで設定できます。

3 予約完了

●約10秒後に点滅から点灯に切り替わり設定完了です。（設定時間が経過すると暖房運転が開始します。）

●予約「入」を解除したい時は、「入」スイッチを押し消灯させてください。

暖房水の補給について

暖房水の補給

- 暖房水の補給は、1年に1回程度ですが、暖房・乾燥の使用時間により異なります。
- 水の減りが早かったり、急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。販売店または、もよりの東邦ガスにご連絡ください。
- 暖房水が減少した場合、暖房タンク内の水位センサーが作動し暖房が停止します。このとき機器前面の燃焼ランプが点滅します。(10回点滅)
- 温水温度リモコン使用の場合(補給水表示の点滅、機器運転中は04も表示)
- 暖房水が減少した場合

燃焼ランプが10回点滅した場合、または点火操作を行っても火が付かない場合、下記の手順で機器の暖房タンク内に暖房水を補給してください。

△注意

暖房タンク内に補給する水は必ず水道水を使用してください。地下水などを使用すると機器が損傷する原因となります。

暖房水の補給手順

- (1) リモコンや放熱器の運転をすべて停止してください。
- (2) 注水口キャップをまわして取りはずします。

△注意

暖房水が冷えてから行ってください。
温水温度が高いと温風が吹き出すことがあります。

- (3) 暖房水補給口から水道水をやかんなどでゆっくり補給してください。

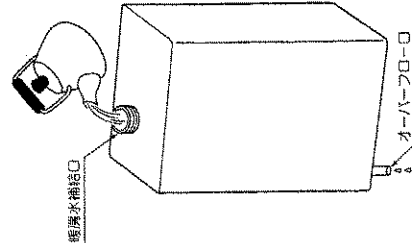
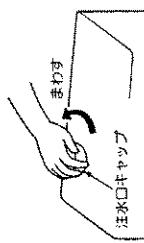
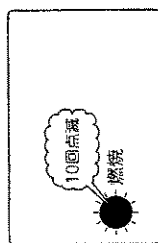
- (4) 注水口キャップを取り付けてください。

●機器を使用しないときでも故障を防ぐために機器を自動的に数秒間運転させることがあります。

燃焼表示点滅がありましたら、機器を使用していないときでも水を補給してください。

- オーバーフロー口から水が出て、機器前面の燃焼表示は点滅したままです。(温水温度リモコンは運転スイッチがOFFの状態になります)

放熱器またはリモコンの運転スイッチをONすれば点滅はなくなり、機器は正常に運転します。



凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法

気温が下がってくると自動的にポンプが回り、燃焼を開始し、凍結を予防しますので電源プラグを抜かないでください。

- ① ガス栓が開いていることを確認する。
 - ② 放熱器または温水温度リモコンの運転スイッチを「1切」にする。
 - ③ 「※」スノーマークがある放熱器は運転つまみを「※」スノーマークに合わせてください。
- ※放熱器は種類によって、凍結予防運転の方法が異なるため、放熱器の説明書をお読みください。

不凍液について

凍結予防には不凍液も使用しています。不凍液は適正濃度を保つため1年に1度点検が必要です。お買求めの販売店、担当メンテナンスまたは、もよりの東邦ガスに連絡してください。

もし凍結して暖房ができないうとき

- ① 放熱器や温水温度リモコンの運転スイッチを「1切」にする。
- ② ガス栓を閉じる。
- ③ 凍結がなくなり、機器や配管から水漏れがないか、よく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。

凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき (現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	運転スイッチを一旦切り再使用してください。
過熱防止装置	機器内の湯温が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な高温上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	
空だき防止装置	暖房水が低下したとき	自動的にガスを止めます。	機器天部の注水口キャップを外して、水を補給してください。
凍結予防装置	気温が下がったとき	自動的に燃焼運転し、凍結を予防します。	凍結予防のしかたもご確認ください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。

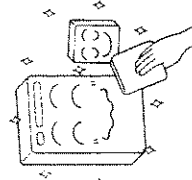
点検・お手入れ

機器および周辺		点検のしかた	処置
機器および周辺	機器の周りや排気トップのそばに燃えやすいものを置いていませんか？		燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不決な臭いなどがありますか？		お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。
	機器の外観に異常がありますか？		
	排気トップおよび給気口にほこりや変色したあとがありますか？		
	機器や配管からガスの臭いはありませんか？		
		機器や配管から水漏れはありませんか？	



お手入れのしかた

- 固くしぼった布で汚れをふきとってください。
- ベンジンやシンナーなどは使わないでください。
- 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。
- リモコンは故障に水や洗剤などをかけないでください。
- リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。



定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために1年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに相談してください。
この場合は、有料となります。

故障かな?と思ったら

■故障かな?と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●リモコンの運転表示が点灯しない。	●停電していませんか? ●漏電安全装置が作動していませんか?	7 17
●暖房がきかない。	●暖房水が供給されていますか? ●ガス栓が全開になっていますか?	15 10

●以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。
不安全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●停電復旧後に暖房がでない。	●暖房している途中で停電が起きたときは、再度通電しても放熱器や温水温度リモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。(放熱器の種類によっては運転するものもあります) 再度放熱器または温水温度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音(ブーン)がする。	●再使用時の点火をより早くするためにしばらくの間ファンがまわる音です。
●寒い日に排気トップから白い煙がでる。	●冬は吐く煙が白く見えるように排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
●冬期など寒いときにポンプが回り、燃焼運転する。	●凍結予防のためポンプが回り、燃焼を開始します。
●暖かい季節でも暖房のポンプが回る。	●ポンプの回数を防止するために自動的にポンプを回しているためです。

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●床面の温度がなかなか暖まらない。	●床面が暖まるには仕上材の種類や外気温などによって変化し、暖房効果が得られるようになるには(木質フローリング、カーペットなどの場合約30分～1時間)(壁、タイル、天然石などの場合約1時間～2時間)予熱時間が必要です。あらかじめリモコンで設定時間を設定して使用してください。(リモコンの設定方法は暖房予約のしかたを確認してください。)
●床温が上がらない。 ●室温が上がらない。	●室温センサー付きの床暖房リモコンをお使いの方は、リモコンの近くにストーブなど高温になる機器を置かれますと、暖房性能が発揮できないことがあります。ストーブなどの暖房機器の位置を変更してください。 ●リモコンに日差しが直接あたると暖房性能が発揮できないことがあります。カーテンで遮へいしてご使用ください。
●床面の暖かさか場所によって少し違う。	●床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れているところとそうでないところでは床面の温度に若干の差が生じますが異常ではありません。
●床面の足触りが場所によって少し違う。	●カーペットや断熱フローリングなど、やわらかい仕上材では、床暖房の固定部分や温水接続部分などのため、床面の足触りがかたく感じられることがあります。異常ではありません。
●床暖房を使用中に音がする。	●床暖房を使用しますと、稀まれに床面が音が出る場合があります。これは、床暖房の熱によって、本体および仕上材など床の構造体が膨張・収縮し、そのさいに発生するものであり異常ではありません。
●リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった。	●室温センサー付きの場合 ●室温が設定より高い場合には、床面温度を下げて室温調整をしています。 (床温センサー付きの場合) ●床暖房の1箇所に床温センサーが入っています。その部分を座布などで覆いますと、センサーが正常に作動せず他の床面温度が低い場合でも、リモコンがOFFとなり全体が低めの温度制御になります。リモコン設定を上げてください。このような場合には(センサーは床暖房設置面の1箇所(1系統の場合)に設置しています)座布団などの位置を変えるなどしてご使用ください。
●床表面に凹凸や段差がある。	●温水パネルの2枚以上の併設時や床仕上材や床暖房パネルと周辺台板の継ぎ合わせ部分には多少の凹凸があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。異常ではありません。
●床仕上材の継ぎ目に隙間がある。	●フローリングや畳などは天然材を使用しています。耐熱処理や含水率調整をした床暖房用のものを使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかな隙間が生じることがあります。
●床仕上材の变色	●床仕上材に直接日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが現れます。カーテンやブラインドなどで遮るようしてください。

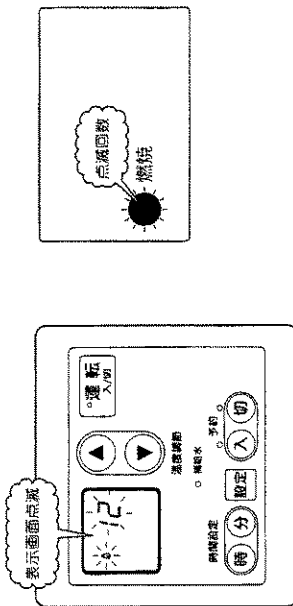
●なお、ご不明な点は、お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガス(別紙サービス網一覧表)に相談してください。

故障かな?と思ったら

異常報知 (OKモニター) をお調べください。

- 機器に不具合が生じると、機器本体正面の燃焼表示が点滅します。また別売の温水温度リモコン表示画面に下記のような2けたの数字と燃焼表示が点滅します。

温水温度リモコン (別売品: YPRM56)



リモコン 故障表示	機器燃焼 ランプ 点滅回数	内 容	処 置 方 法
11	1回	バーナ不着火	運転スイッチをいったん「1回」にし、再度「1回」にし、再操作をして、表示が出なければ正常です。
12	2回	バーナ途中消火	※
16	7回	サーミスタ高温検出 (95℃以上)	※
17	10回	暖房補給水回路の不具合 (微少漏れ)	※
14	3回	温度ヒューズまたはハイリミット作動	※
31	5回	サーミスタ系統の不具合	※
04	10回	補給水不足 (水位電極の不具合)	暖房水を補給してください。
61	6回	燃焼ファン系統の不具合	※
71または72	8回	電熱系統の不具合 (バーコン、炎検出)	※
07	4回	圧縮機不良の不具合	※
76	9回	備え付けの通信異常	※

- 処置後も異常報知をくり返すときや、上記以外の表示または、※印の場合は、お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。

異常時の処置

1	万一ご使用中に異常な運転音、臭気、炎がつかれたら、速やかに運転を停止して、東邦ガスにご連絡ください。
2	地震、火災が発生したときには、速やかに運転を停止してください。
3	水漏れなどに気づいたら運転を停止して、東邦ガスにご連絡ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 19~21ページからの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い求めの販売店、またはもよりの東邦ガスに連絡してください。
- なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品 名	ガス暖房専用熱源機
2. 東邦ガス品名コード (機器前面に貼付してあります。)	例 BS-0600ARS 東邦ガス株式会社
3. 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)	
4. ご住所・お名前・電話番号・連絡 (できるだけ詳しく)	

転居される場合

ガスには都市ガス (数種類) およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お問い合わせの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

取扱説明書の26ページが保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガスにご相談ください。
- 修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 無料修理期間経過後の修理については、お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガス (別紙サービス網一覽表) に相談してください。
- 修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、製造打ち切り後10年間です。
- 但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

4
x

- 77 -

品名: Y BS-0600ARS

[illegible]

東邦ガス株式会社

1-71

〒578-0941 東大阪市岩田町6丁目2-35

TEL 029 (63) 9800

修理内室	サービス置場
------	--------

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	52
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

Abstract

1

— 78 —